

高さ30メートル“空中散歩”

ケーブルに付けた滑車とともに滑り降りる「ジップスライド」や、樹上のアスレチックを楽しむレジャー施設「フォレストアドベンチャー・神戸六甲山」が13日、神戸市灘区の六甲山カンツリーハウス内で開園した。落下防止の安全器具を着けた参加者は、ケーブルを滑走したり不安定な足場を走り抜けたりして、緑が深まる六甲山で“空中散歩”を満喫していた。(村上晃宏)

六甲山に新レジャー施設 スリル、爽快感満喫 自然木生かしアスレチック

フォレストアドベンチャーは、1997年にフランスで始まった自然共生型施設。自然の樹木や地形を生かしたアスレチックなどを楽しむ。六甲山の施設は国内で30カ所目という。目玉は全長約220メートルのジップスライド。地上からの高さは最大約30メートルあり、心地良い風を受けながら木々の向こうに見える景色を楽しめる。アスレチックでは、ゆらゆらと揺れる足場を渡ったり、細い板の上を歩いたりして、スリルと爽快感が味わえる。



⑤樹上のアスレチックなどを楽しむフォレストアドベンチャー・神戸六甲山 ⑥ジップスライドでターザン気分を味わう参加者=いずれも神戸市灘区六甲山町

NEXTに
動画

開園初日、参加者は安全器具の使い方や安全な遊び方を学んだ後、早速樹上にジップスライドでは、子どもたちが勇気を出して一歩を踏み出し、ターザン気分を味わった。家族と訪れた神戸市西区の井吹の丘小学校1年、清水祐司君(7)と梅崎春斗君(7)は「全然怖くなかった。いろんなアスレチックがあって楽しい。また来る」と笑顔で話した。

11月17日までの予定。午前10時半～午後5時(受け付けは午後3時まで)。事前予約制。利用料3700円(六甲山カンツリーハウスの入園料を含む)。身長110センチ以上で小学1年生以上、体重130キログラム以下が条件。フォレストアドベンチャー・神戸六甲山 078・891・0366



小さい足場を渡り、空中散歩を楽しむ子ども